

『私は 男女平等を 憲法に書いた』

上映会&トーク

『待っている間も、各国の憲法を読みなおし、女性の権利で見落としている事柄はないかとチェックしたりした。気づかなかつたばかりに、後で日本の女性たちが苦勞することがないように、と念を入れた』

『激論の中で、私の書いた“女の権利”は、無残に、一つずつカットされていった。一つの条項が削られるたびに、不幸な日本女性が増えるように感じた。痛みを伴った悔しさが、私の全身を締めつけ、それがいつしか涙に変わっていた』 (朝日文庫『1945年のクリスマス』より)



1946年2月、戦後間もない日本で新しい憲法の草案づくりに参加した女性がいました。ベアテ・シロタ22歳。なぜ彼女にこのような指令が下されたのか？彼女が書いた女性の権利は日本国憲法に反映されたのか？

2024年4月21日(日)

- ①10時00分～ 上映72分+お話し40分ほど
- ②14時30分～ 上映72分+お話し40分ほど

参加費無料
午前・午後ご都合の
よろしい方どうぞ

上映作品

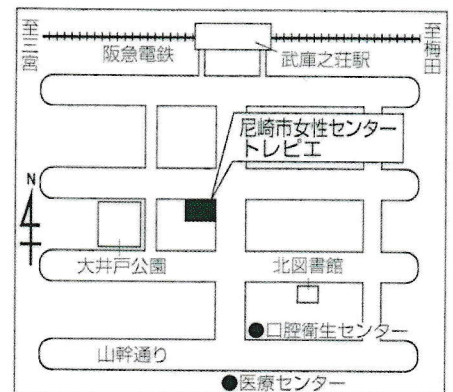
『私は男女平等を憲法に書いた』
(ドキュメンタリー工房・朝日放送制作)

会場

尼崎女性センタートレピエ視聴覚室
(尼崎市南武庫之荘3-36-1)

問合せ

メール: mizuta.ryuzo@gmail.com
電話: 090-9713-3411 (水田)
090-3626-1514 (高島)



阪急武庫之荘駅から南へ徒歩4分

共催

ピースウェーブfrom尼崎 / 尼崎でベアテさんと憲法を学ぶ会

協力

ドキュメンタリー新社